

蒼穹NEWS No.8

駅伝総括号

平成 16 年 12 月 12 日発行



関西学生駅伝メンバー

～～～ 目 次 ～～～

1. 関西学生駅伝の結果
2. 関西学生駅伝の総括
3. 関西学生駅伝の詳細
4. 京都学生駅伝の結果
5. 京都学生駅伝の総括
6. 京都学生駅伝の詳細

関西学生駅伝の総括

去る11月21日、丹後半島に於いて第66回関西学生対校駅伝競走大会が行われました。2年連続の伊勢予選の切符を目標としていた我が京都大学は、序盤からの好位置を保ち、7、8区で3回生の宮木、宇部がともに区間9位の力走を見せ、ライバルと目された神戸大にも勝って見事10位に入ることができました。

私事ではありますが、今シーズンは故障に始まり、原因不明の体調不良に悩まされ、いい所がありませんでした。今回も個人的には不本意ではありましたが、選手はもちろん皆自分の役割をきっちりと果たし、その結果見事目標を達成でき、本当にパート長冥利に尽きる駅伝となりました。

これからは次期パート長の宮木を中心にまずは京都駅伝、そして6月に行われる全日本学生駅伝関西地区予選会が目標になっていきます。特に伊勢予選では厳しい戦いが予想されますが、若手の育成を中心として頑張っていきますので、これからもご声援、ご支援のほどを宜しく願います。本当にありがとうございました。

京都大学陸上競技部 平成16年度長距離パート長

西村 好康

第66回関西学生駅伝競走大会の結果

(11月21日 丹後半島)

順位	大学	タイム	第1区 8.2km	第2区 5.8km	第3区 10.4km	第4区 9.9km	第5区 12.8km	第6区 12.4km	第7区 11.2km	第8区 11.8km
1	京都産業大	4.07.25	長安裕也 25.20 25.20	渡辺圭一 42.35 17.15	大西毅彦 1.13.26 30.51	上間翔太 1.42.34 29.08	井川重史 2.21.08 38.37	辻裕樹 2.59.55 38.47	村刺厚介 3.33.06 33.11	森田司 4.07.25 34.19
2	立命館大	4.10.30	池田康仁 25.30 25.30	西川康平 42.42 17.12	田子康弘 1.12.51 30.09	石嶋智顕 1.42.36 29.45	稲井義幸 2.21.06 38.30	白坂拓 3.00.26 39.20	南口真吾 3.35.06 34.40	大前喬之 4.10.30 35.24
3	奈良産業大	4.16.33	柳川雄介 26.04 26.04	保木高志 44.19 18.15	寺島毅 1.16.41 32.22	奥中洋貴 1.46.29 29.48	Dムリュウ 2.25.02 38.33	西原隆史 3.04.59 39.57	有水裕基 3.40.50 35.51	比嘉良侑 4.16.33 35.43
4	大阪経済大	4.16.46	向井章訓 26.24 26.24	三輪剛士 43.41 17.56	星野清 1.16.14 32.33	大寺雅則 1.46.25 30.11	吉山尚寿 2.25.42 39.17	高木将臣 3.05.39 39.57	中内大介 3.41.06 35.27	廣谷剛太 4.16.46 35.40
5	大阪体育大	4.17.22	畠中裕樹 25.14 25.14	大橋昌弘 44.20 17.56	浅井猛 1.16.31 32.11	大家孝行 1.47.19 30.48	長井健輔 2.26.18 38.59	清水弥寿允 3.05.37 39.519	前田義人 3.41.06 35.32	田茂井政 4.17.22 36.13
6	近畿大	4.18.11	堀内宏則 25.58 25.58	松岡慎吾 44.11 18.13	奥野智久 1.16.33 32.11	山副翔吾 1.46.56 30.23	山本健司 2.26.45 39.49	宇都宮孝司 3.06.38 39.53	武田真治 3.42.29 35.51	平野裕 4.18.11 35.27
7	関西大	4.20.37	山口卓也 25.42 25.42	高天祐紀 43.47 18.05	村岡克彦 1.16.20 32.33	平野司 1.46.32 30.12	岩橋俊幸 2.27.29 40.57	的場健太郎 3.07.54 39.53	木村陽介 3.45.10 37.16	高橋宏昌 4.20.37 35.27
8	龍谷大	4.22.29	野々口範一 25.32 25.32	芝原章悟 43.46 18.14	小西賢一 1.16.18 32.32	宮坂正勝 1.47.00 30.42	松岡悟史 2.25.36 38.36	櫻井邦亮 3.06.22 40.95	芝直樹 3.44.01 37.16	井上裕介 4.22.29 38.38
9	関西学院大	4.23.16	吉田浩一郎 25.26 25.26	江口佑樹 44.05 18.39	西門浩司 1.16.47 32.42	鴨川亮 1.48.33 31.46	佐々木和裕 2.29.39 41.06	植月孝行 3.09.44 40.05	鳥越悟 3.46.48 37.04	上田圭 4.23.16 36.28
10	京都大	4.24.16	佐藤章徳 25.44 25.44	加藤圭祐 44.36 18.52	山崎圭介 1.17.43 33.07	相澤泰隆 1.49.28 31.45	西村好康 2.30.25 40.57	渡辺敬宏 3.10.59 40.34	宮木貴志 3.47.43 36.44	宇部達 4.24.16 36.33
11	京都創成大	4.25.07	大島佑治 25.59 25.59	川勝和人 44.46 18.47	中井悠平 1.17.39 32.53	山下達大 1.49.13 31.34	田中甲斐 2.30.22 41.09	亀井陽平 3.10.52 40.30	井福裕之 3.48.11 37.19	小谷康之 4.25.07 36.56
12	神戸大	4.25.08	岡本拓史 25.58 25.58	川口淳 44.36 18.52	桂聡史 1.18.24 33.18	三桝信哉 1.50.09 31.45	長野正昭 2.30.29 40.20	堀常純哉 3.10.41 40.12	村岡悟 3.47.38 36.57	益田和敏 4.25.08 37.30
13	大阪大	4.25.39	山根聡 25.48 25.48	中瀬健太郎 44.33 18.45	藤田浩史 1.18.52 34.19	油谷一晃 1.50.09 31.11	金政泰介 2.30.45 40.42	坂井拓郎 3.11.58 40.12	木畑貴行 3.48.17 36.19	川澄健人 4.25.39 37.22
14	大阪学院大	4.25.49	川人康平 26.10 26.10	宮城和人 44.45 18.35	山地史朗 1.18.19 33.34	穂波太悟 1.50.44 32.25	出崎孝行 2.31.33 40.49	十田卓 3.12.07 40.34	仁木宏則 3.48.59 36.52	高野健史 4.25.49 36.50
15	大阪教育大	4.26.13	村上大樹 26.08 26.08	佐藤宗和 45.13 19.05	谷本浩一 1.19.05 33.52	松下健太 1.49.46 30.41	辻本健彦 2.30.31 40.45	西峰正晴 3.12.53 42.22	酒井達哉 3.48.01 35.08	新地真広 4.26.13 38.12
16	佛教大	4.27.02	越田雄輔 26.33 26.33	久保利文 45.43 19.10	田島優 1.20.31 34.48	越田友喜 1.51.49 30.39	瑞徳祥太 2.30.35 39.25	石井一平 3.12.21 41.46	炭本純 3.49.29 37.08	前田有太 4.27.02 37.33
17	神戸学院大	4.31.17	東小園慎介 26.32 26.32	岡本研 45.24 18.52	戸田拓伸 1.19.07 33.43	東定義 1.50.49 30.39	原田護 2.32.55 42.06	藤岡大介 3.14.36 41.41	松山佳真 3.54.13 39.37	井上健志 4.31.17 37.04
18	関西外語大	4.34.14	辻啓太 29.09 29.09	大谷和夫 47.31 18.22	佐伯壽紀 1.21.37 34.06	田部良樹 1.54.10 32.33	横尾信太郎 2.36.31 42.21	竹田康人 3.17.51 41.20	山田裕介 3.54.51 37.00	濱田慶吾 4.34.14 39.23
19	桃山学院大	4.34.34	庄野優大 26.37 26.37	上田幸平 45.15 18.38	上田要 1.18.35 33.20	伝野剛 1.49.58 31.23	木下朋幸 2.31.44 41.46	林昌弘 3.15.25 43.41	森田一則 3.56.12 40.47	西端文博 4.34.32 38.20
20	大阪産業大	4.38.02	三上省吾 25.42 25.42	橋川譲 45.23 19.43	橋拓実 1.17.49 32.26	藤井誠 1.48.59 31.10	有村洋行 2.30.52 41.53	米田宗司 3.18.28 47.36	堀口康介 4.00.21 41.53	立石学 4.38.02 37.41

関西学生駅伝の詳細

1区 8.2km 佐藤章徳 (工M1) 25分44秒 (区間7位・通過7位)

ハイペースで縦長の集団が予想されたが、京産や立命が飛び出しを控え、入り1kmが3秒17のかなりのスローで円形の大集団となった。前半は関大山口が先導する。佐藤はスタート直後、最後方につけたが、スローペースのため積極的に前に行き、山口の後ろ、京産長安の隣2番手に位置した。

4km手前あたりから集団が徐々にペースアップしたが、ほぼ全員が余裕をもってついていた。そして、5.5kmの湊大橋上りで立命池田がスパートして一気にばらける。関学吉田と長安がつき、佐藤もここでスパートして龍谷野々口と山口の後方6番手へ。

前3人は離れてしまったが、佐藤も一気にキロ3分を切るペースまで上がっていて、後ろは一旦離れた。すぐ前に見える山口を追ったが、少しの差をどうしても詰められない。

ラスト1kmで少しペースが落ちてゴール前大産三上に交わされたが、大経向井は振りきって7番手で加藤にリレーした。

2区 5.8km 加藤圭祐 (工2) 18分52秒 (区間15位・通過11位)

7位で襷をもらった加藤は2秒前の関西大、大阪産業大そしてひとつ後ろから上がってきた大阪経済大と集団を形成する。1km過ぎに大阪産業大が脱落。2km通過が6分13秒。イーブンペースで集団は進むが、のぼりがきつくなるあたりで、関西大、経済大から遅れ、3kmを9分27で通過。そこからくだりに入り、他校のペースが一気に上がり、大阪学院、奈良産業大、近畿大、大体大などに抜かれるが、4km過ぎの直線までは見える範囲。しかしラストに完全に離される。落ちてきた大阪学院をなんとかとらえるも、5kmにわたって追われていた大阪大にスパートでやられ11位に順位を落とし、3区山崎に襷をつないだ。

最後の1kmのスパート次第では8位くらいまでは追いつくことも十分可能だったので残念だが、ランキング20位と最も順位を落とすであろうと思われた加藤のところで10位に見える位置に踏みとどまれたのは大きかったと思う。

3区 10.4km 山崎圭介 (農M2) 33分07秒 (区間12位・通過11位)

11位という好位置で襷をもらい、20mほど前の阪大を目安にリラックスしてスタートした。

1km過ぎからは後ろから追いついてきた大坂学院大も含めた3校でグループを作り3kmまで続く山を上っていった。この山を上りきる直前から後ろを引き離しにかかり、下りに入ると明らかに後ろの足音が小さくなっていく。そのまま快調に中間点あたりまで来たが、ここにきて一旦離れていた大坂学院大に再び後ろにびたりとつかれ、さらに下りを利用して一気にスピードを上げてきた創成大にもその後ろにつかれる。

6.5kmあたりで創成大が前に出て揺さぶりをかけると7km過ぎで大坂学院大が離され、山崎も7.5kmあたりで少し離される。ここで離された15~20mの差が結局最後まで詰められず、創成大から4秒遅れの11位で襷を相澤に渡した。

4区 9.6km 相澤泰隆 (理M2) 31分45秒 (区間16位・通過12位)

襷を11位で引き継いだ相澤。前には京都創成大、後ろには大阪産業大が近くにいた。最初の1キロで後ろの大阪産業大に追いつかれ並走する。この選手は相澤の目標であったので、登りがきつい前半は絶対に離れまいとくらいつていった。

後半は幾分平坦となるので、相澤はここからペースを上げた。しかし、前の2選手とは実力に差があり、徐々に離れていってしまう。昨年よりは20秒ほど早く走れたが、区間順位は16位、総合順位も1つ下げてしまう結果であった。

「実力通りの走りはこなせた」という相澤。とはいえ、チームにあまり貢献できなかったこと、単なる繋ぎの区間となってしまったことは残念である。奮起の糧としてもらいたい。

5区 12.8km 西村好康 (工4) 40分57秒 (区間13位・通過11位)

先頭と6分50秒差、目標となる10位の大産と29秒差の12位で襷を受け取った西村は、直前に回復してきていた体調が悪化しており、どうも体が動かなかった。序盤の時点で前に追いつくことは無理と判断し、後の選手を信じて、確実に襷をつなぐことに気持ちを切り替えていった。しかし予想以上に後続の追い上げが激しく、5キロ付近で、大教、阪大、神戸大の3校に追いつかれてしまう。何とか集団についていながら徐々に持ち直していき、一度離された前との差じりじりとつめていく。そして大産をかわし、集団をわずかに抜け出して10位創成と4秒差の11位で6区の渡辺に襷をつないだ。

走りは最悪だったが、結果的には、試合を壊さず、なんとか10位への望みはつないだ。

6区 12.4km 渡辺敬宏 (工4) 40分34秒 (区間11位・通過12位)

先頭から9分17秒差、神戸大・京都創成大・大阪教育大などが数秒差でひしめき合う中で襷を受け取る。直後、神大の堀常が一時的にペースアップし、混戦の中から数十メートル抜け出す。渡辺は創成大の亀井や大教大の西峯らとともにそれを追う。3キロ過ぎで大教大は離れ、渡辺は創成大からつかず離れずの位置でレースを進める。

途中、強い向かい風に選手たちは苦しむが、神大を少し後ろから創成大と京大が追うという状況はあまり変わらず、結局40分34秒の区間11位でタスキリレー。数字の上では総合順位を1つ落としてしまったが、後続との差を広げ、また、前との差も最小限にとどめ、終盤の逆転への足がかりを作った。

7区 11.2km 宮木貴志 (農3) 36分44秒 (区間9位・通過11位)

前に神戸と創成が見える位置で襷を渡辺からもらった。最近調子はずっと良くなかった宮木。

最初はゆったりとしたペースで入った。1キロ過ぎからの登りで少しずつペースをあげ2キロ手前で創成に追い付き、4キロ手前の登りで引き離れた。この時、神戸もかなり近付いており、5キロ6キロと下りを利用してかなりペースをあげ一気に一度、追い付いた。

しかし神戸村岡は前半ゆったりだった分7キロぐらいからスピードを切り替えたようだ。宮木はそれに対応できず、少しずつ離された。が、なんとか粘り、9キロ過ぎから少し走りが戻り、最後の登りでは京大の熱い声援もあり息を吹き返した。「神戸を抜かず、自分の走りにはかなり不満」とレース後にこぼしていたが、なかなかの快走であった。

8区 11.8km 宇部 達 (工3) 36分33秒 (区間9位・通過10位)

先頭の京産大が通過して10分後、14校が繰り上げスタートになった。まず関西学院大が抜け出し、2番手以降は集団になる。集団を関西大が引っ張り、1kmが3分00秒という速いペース。関西大が抜け出そうとしたところに神戸大がつき、宇部も思い切ってこれにつく。

2kmを6分00秒で通過した後、関西大が抜け出し、宇部は神戸大の後ろにつけた。

6km手前、天橋立に入ったあたりで、ペースが鈍ってきた神戸大を、宇部が突き放し、さらに関西学院大に追いついた。そのまま関西学院大との並走を続け、最後は競り負けたものの、見事に繰り上げ校の中で3番目にゴール。総合成績でもこの区間で逆転、会心の走りであった。

京都学生駅伝の総括

新長距離パートチーフになりました、宮木です。

今回の駅伝は西村の体調不良もあり来年の駅伝も見越したチーム編成区間配置で望みました。

一区佐藤がトラックの勢いそのままによい位置で襷を繋ぎ三区、四区と龍谷大学仏教大学と激しい争いをしましたが、最終的には龍谷大には完全に力及ばず、仏教大にも僅差で敗れました。快走、ブレーキともにならない、堅実な襷リレーでしたが、勝負弱さが最後になって現れてしまいました。

Bチームでは一回生の吉川が好走し、二回生加藤も力をつけ、課題だった、下回生の底上げは進んできました。

今期はトラックでは他パートのお荷物となってしまった長距離ですが、勝負を意識して、しっかりと冬季練習に励みたいと思います。私、個人としてもまだまだ力不足ですが最善を尽くしますので一年間よろしくお願ひします。

京都大学陸上競技部 平成 17 年度長距離パート長

宮木 貴志

第7 1回京都学生駅伝競走大会の結果

(12月5日 京都洛北)

対校の部								
順位	大学	タイム	第1区 8.4km	第2区 5.0km	第3区 5.4km	第4区 8.4km	第5区 5.0km	第6区 9.7km
1	京都産業大	2:07:15	森田 司 26:00 26:00	辻 裕樹 41:07 15:07	大西 毅彦 56:04 14:57	井川 重史 1:22:25 26:21	谷口 雅軌 1:37:42 15:17	村刺 厚介 2:07:15 29:33
2	立命館大	2:11:03	富永 崇 27:06 27:06	稲井 義幸 41:59 14:53	田子 康弘 56:14 14:15	白坂 拓 1:24:10 27:56	南口 慎吾 1:39:46 15:36	石嶋 智顕 2:11:03 31:17
3	龍谷大	2:15:14	松岡 悟史 26:03 26:03	野々口範一 41:47 15:44	芝 直樹 58:00 16:13	井上 裕介 1:27:20 29:20	柴田 大輔 1:44:12 16:52	小西 賢一 2:15:14 31:02
4	京都大	2:16:44	佐藤 章徳 27:31 27:31	宮木 貴志 43:50 16:19	西村 好康 59:16 15:26	渡辺 敬宏 1:27:43 28:27	加藤 圭祐 1:44:24 16:41	宇部 達 2:16:44 32:20
5	京都創成大	2:18:04	亀井 陽平 28:19 28:19	山下 達大 44:56 16:19	川勝 和人 1:01:27 16:31	中井 悠平 1:29:51 28:24	田中 甲斐 1:45:50 15:59	小谷 康之 2:18:04 32:14
6	びわすポ大	2:21:20	熊田 大 27:27 27:27	澤田 浩志 44:05 16:38	杉山 侑 1:00:22 16:17	中田 夏輝 1:30:05 29:43	中西 悟 1:54:02 16:57	松山 祐介 2:21:20 34:18
7	同志社大	2:24:42	音場 敦史 28:48 28:48	橋和田邦生 45:14 16:26	後藤 貴志 1:02:55 17:41	川人 健二 1:33:12 30:17	下條 一朗 1:51:14 18:02	玉川 輝久 2:24:42 33:28
8	京都工織大	2:27:50	反岡 和宏 30:12 30:12	田邊雄一郎 47:42 17:30	朴 尚喜 1:05:55 17:28	坂井 一成 1:35:50 30:40	宇谷 匡貴 1:54:11 18:21	池澤 由雄 2:27:50 33:39
9	京都教育大	2:29:25	益山 高広 29:42 29:42	下賀 弘一 46:57 17:15	小林 洋介 1:04:11 17:14	山田 哲 1:35:15 31:04	千葉 哲 1:53:36 18:21	永井 達也 2:29:15 35:39
10	京都学園大	2:33:04	山田 雄樹 29:54 29:54	山口 忠彦 49:29 19:35	田村 彰教 1:07:58 18:29	中西 俊輔 1:39:54 31:56	丸山 尊也 2:00:03 20:09	植村 裕樹 2:33:04 33:01
11	滋賀大	2:40:12	平坂 昌昭 30:49 30:49	安藤 彰宏 49:55 19:06	徳末 孝則 1:07:38 17:43	丸重昇一郎 1:40:29 32:51	関 尚樹 2:02:09 21:40	和田 由将 2:40:12 38:03
オープンの部								
1	京都産業大 B	2:10:00	長安 裕也 26:45 26:45	長澤 朋哉 42:24 15:39	渡辺 圭一 57:43 15:19	藤田 昌也 1:24:30 26:47	菅家 幸太 1:39:51 15:21	上間 翔太 2:10:00 30:09
2	立命館大 B	2:12:56	大前 喬之 27:50 27:50	坂井 覚 43:36 15:46	山下 博貴 59:24 15:48	木澤 創平 1:26:36 27:12	猪子 和明 1:42:13 15:37	平尾 光晃 2:12:56 30:43
3	佛教大	2:16:24	越田 友喜 26:55 26:55	越田 雄輔 43:32 16:37	田島 優 59:54 16:22	石井 一平 1:29:20 29:26	久保 利文 1:45:52 16:32	瑞徳 祥太 2:16:24 30:32
4	大阪学院大	2:16:55	十田 卓 27:45 27:45	宮城 和人 43:52 16:07	山地 史郎 59:50 15:58	出崎 孝行 1:27:33 27:43	仁木 宏則 1:44:08 16:35	川人 康平 2:16:55 32:47
5	龍谷大 B	2:18:51	宮坂 正勝 27:40 27:40	石田 賢史 44:33 16:53	新津 慎也 1:01:05 16:32	芝原 章悟 1:29:24 28:19	山本 新二 1:46:45 17:21	櫻井 邦亮 2:18:51 32:06
6	桃山学院大	2:24:47	木下 朋幸 28:20 28:20	庄野 雄太 45:24 17:04	矢羽田 聖 1:03:30 17:37	山田 要 1:32:26 29:25	村田 聡史 1:50:26 17:42	林 昌弘 2:24:47 34:13
7	京都大 B	2:24:48	吉川浩太郎 28:36 28:36	木村 祐介 45:49 17:13	山下 輝芳 1:02:41 16:52	田中 裕介 1:32:44 30:03	福原 徹彦 1:50:26 17:42	山本 直 2:24:48 34:22

京都学生駅伝の詳細

A チーム

1区 8.4km 佐藤章徳 (工M1) 27分31秒 (区間5位・通過5位)

雨による増水のためスタート地点は変更になったが定刻通りのスタート。京産A森田、龍谷A松岡らがペースを作るがそれほど速くはなく、大集団となった。

1kmを過ぎ、河川敷から出たあたりからペースが上がり集団はバラけたが、佐藤はそれまでの走りがあまり良くなかったことから無理せずマイペースで追走した。中盤の難所である狐坂で、それまで9番手で並走していた同大・創成大を振り切り、龍谷B宮坂に追い付いて2人で前を追っていった。相変わらず苦しい走りの続く佐藤だったがペースは維持し、後半のだらだら続く登りで落ちてきた立命B大前を交わし、宮坂を振り切って前を行くびスポ大熊田との並走に持ち込んだ。しかし熊田のスパートに対応できず、7番手での襷リレーとなった。

コース全般に登り基調であり、終始強い向かい風が吹いていたため、実力差がはっきり出る結果となった。

2区 5.0km 宮木貴志 (農3) 16分19秒 (区間4位・通過4位)

一区佐藤からいい位置で襷をうけとり、走り出した。すぐに前をいくびスポ大に追い付き少し後ろについて遅いのですぐ前へ。比較的落ち着いたペースで1.5kmくらいまで走る。

すると後ろから立命Bと大院大に追い付かれた。立命につこうとするが200mくらいで今の力では無理と悟り、離れた。

大阪学院大、びスポ大を引き連れ折り返す。大院が下りに入り仕掛けたが切れがなく、横につけ並走。ラスト300mくらいで再度スパートされ離れかけたが、中継点の西村の姿を見て最後の力を出し切り大坂学院大をさして襷を渡した。風が強く調子が悪かったが何とか責任を果たした。

3区 5.4km 西村好康 (工4) 15分26秒 (区間3位・通過4位)

関西学生駅伝以後、体調が思わしくなく、3区での出場となった西村は、前を行く佛大Bと18秒差、立命Bと14秒差で襷を受け取った。距離が短く、下りのコースで追い風ということもあり、迷わず突っ込んで入った。2キロ付近ではすでに遅れてきた佛大Bを抜き去り、立命Bにも肉薄していた。河川敷に入ってから立命Bに追いつきしばらく並走するが突き放した。

折り返し後、練習不足と強烈な向かい風のせいにかまったく動かなくなるが何とか粘って4区の渡辺に襷をつなぎ、悪いなりに仕事は果たした。

4区 8.4km 渡辺敬宏 (工4) 28分27秒 (区間4位・通過4位)

立命館大Bの前という好位置で襷を受け取った渡辺。序盤、強烈な向かい風が吹いたこともあり、立命館大Bには上賀茂橋付近で抜かれたが、狐坂付近までは安定した走りでレースを進めた。

しかし、狐坂を下り終わった付近から、上り基調のコースと、強烈な向かい風もあって次第に苦しくなり、オープンの部の大阪学院大にも抜かれてしまったが、大崩れすることだけではなく、5区加藤に無事にタスキを渡した。

「今シーズン、上りや向かい風で走る練習も多くしてきたつもりだったが、まだまだ足りない。有力校に対抗するには不十分」と感想をもらした渡辺。区間順位は4位と及第点だったが、タイム的には納得のいかない様子であった

5区 5.0km 加藤圭祐 (工2) 16分41秒 (区間4位・通過4位)

スタート直後は大阪学院大との間にバスがはさまり、そのひとつ前に同じくらいの差で龍谷大がいた。最初の坂で追いつこうとするも差は詰まらず、その後も下りで差をつめようとするも同じようにペースを上げられて追いつけず。しかし若干龍谷との差はつまった。後続は見え、下りのおわりでトップから6分20くらいの差で、襷がつかぬのは微妙、そこからなんとか粘り、繰り上げぎりぎり襷をつないだ。タイムは全くさえないだったが、最低限の仕事はしたようだ。ここで龍谷をとらえられなかったこと、佛教に差をつめられたことは残念だった。

6区 9.7km 宇部 達 (工3) 32分20秒 (区間5位・通過5位)

龍谷大、大阪学院大から12秒差でスタート、後ろは20秒差で繰り上げ集団であった。前の2校を追いかけるが、徐々に離れていく。

2kmを過ぎたあたりで大阪学院大が落ちてきたのが見え、これを追いかける。3km付近、20秒差の繰り上げ集団から追いついてきた佛教大に追い抜かれる。狐坂で大阪学院大との差をつめ、下った後、7km手前あたりで追いついて突き放した。

上りが多いコースの上、向かい風も強く、最後までなかなか上げられずにゴール。まずまずの区間成績ではあるが、快走を見せた佛教大の瑞徳や龍谷大の小西からは、大きく差を開けられる結果となった。

Bチーム(オープン参加)

1区 8.4km 吉川浩太郎 (工1) 28分36秒 (区間7位・通過7位)

序盤、吉川にとってはハイペースでレースが進むが、向かい風であったので吉川は集団についていった。後半は徐々に遅れたものの、タイムは悪くなかった。実力以上の選手と競ることができたのが良かった。

2区 5.0km 木村祐介 (農2) 17分13秒 (区間7位・通過7位)

1区の吉川から襷をもらって500mぐらい走ったら後ろから同志社が追いついてきた。抜かれるのは悔しかったが自分の力量を考え、そのままのペースで走っていたら案の定抜かれてしまった。しかし、それから同志社がペースを下げたのか、自分が上げたのかは分からないが折り返し地点まで並走する形となった。折り返しを過ぎたところでもう一度抜き返そうと思ったが、向こうもペースを上げ始めたため、結局同志社にリードを許したまま3区の山下に襷を渡した。

3区 5.4km 山下輝芳 (農3) 16分52秒 (区間6位・通過6位)

繰り上げまで残り18秒というところでなんとか襷がつながり、35秒前方に同志社大、25秒前方に桃山学院大という位置で襷を受け取った。スタート直後のゆるやかな下りと追い風を利用してスピードに乗ることができ、2km過ぎで桃山学院大、3.5km過ぎで同志社大をとらえ、少しずつ差を広げる。出雲路橋で折り返してからは向かい風にやられペースが落ちてしまったが、なんとかふんばり4区・田中に襷をつなげた。

4区 8.4km 田中裕介 (理2) 30分03秒 (区間7位・通過7位)

襷を受け取った後、加茂川を出てすぐに、桃学大に抜かれる。また、後から同志社が迫ってきているのも狐坂で確認できた。後半は向かい風と上りに苦しめられたが、桃学大を目標にして、同志社との差は広げた。

5区 5.0km 福原徹彦 (理3) 17分42秒 (区間6位・通過6位)

襷を受け取ったとき、18秒前に桃山学院大がいた。冷静になれずにつっこんでしまい、最初の1kmで大きく差を詰めるも、その後なかなか縮まらなくなった。十三石橋手前の上りで一度追いついたが、その後の下りで離される。しかしラストで再度追いつき辛うじて抜き返した。

6区 9.7km 山本 直 (法2) 34分22秒 (区間7位・通過7位)

Bチームはこの六区で繰り上げスタートとなった。山本は集団の後ろにつけた。狐坂まではそこそこのペースで走れたがトンネルをくぐり抜けた後、リズムを崩し、苦しいレースとなった。長い距離のレースでもある程度速いペースで押しきれられるような持久力をつけることが課題になる。



蒼穹ニュース 平成16年度 第8号

平成16年12月12日 発行

発行所：京都大学体育会陸上競技部

編集者：中尾太郎・高橋孝治・山本直・吉崎敬祐（副務）

特別協力：森一・田中齊太郎（学連員）・滝上伸子（体育会員）

山田修裕（記録係）・山下輝芳（HP係）

写真担当：石田真大・松久佳弘・森川陽介

陸上競技部 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/index.html>

蒼穹ニュース HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/soukyu.htm>

陸上競技部記録 HP <http://homepage2.nifty.com/bridge-as/>

関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>

メールアドレス discus-k@amber.plala.or.jp（吉崎）